

●検尿

項目	結果	判定	目的	生活習慣改善のポイント
尿蛋白	-～± + ++～++++	(異常なし) (経過観察) (要精密検査)	腎炎、尿路感染症など腎臓や尿路等の病気発見の手がかりになります。高熱が出た時の熱性蛋白尿や起立性蛋白尿、一過性の過労等で陽性が出てことがあります。	
尿潜血	-～± + ++～	(異常なし) (心配なし) (要精密検査)	膀胱炎、腎臓や尿管の結石など尿の通り道に異常があると、尿の中にわずかに赤血球が混じることがあります。前立腺炎や泌尿器系の癌等でも陽性が出てことがあります。	
尿糖	-～± +～++++	(異常なし) (要精密検査)	糖尿病、腎性糖尿病、甲状腺機能異常等で陽性が出てことがあります。尿糖が陽性でも糖尿病とは限らず、血糖値等を加味して判定する必要があります。	
尿ウロビリノーゲン	±～+ ++～	(異常なし) (要精密検査)	急性・慢性肝炎や胆管結石など肝臓や胆のうの異常を疑います。診断には血液一般検査、生化学検査等が必要です。	過労を避け、十分な休養をとる